

クラシカル・オステオパシー Ⅱ

CLASSICAL OSTEOPATHY Ⅱ

昨年の2月に八王子に春山クリニック院長の春山 勝先生（医学博士・内科医・MICO）をお招きしてのクラシカル・オステオパシーのセミナーをして頂いた記憶も新しいと思います。そして今回、日本クラシカル・オステオパシー協会の会長を勇退されました先生に、第2回目のセミナーをお願いしたところ快くお引き受けいただきました。

前回のセミナーは紹介という形でのお話でしたが、今回はクラシカル・オステオパシーの上級コースを抜粋し、クラシカルの特徴である物理学的生理学の考えやオステオパシー・センター、抵抗反応の講義やイスラエル研修内容のお話しもご紹介します。

日時 : 2012年 3月4日 (日) 10:00 - 16:00 (昼休憩あり)
場所 : 上工堂ライフケア整骨院 193-0816 東京都八王子市大楽寺町584-2-2F
室内履きをご用意ください。 昼食場所は近くにございます、ご用意されても大丈夫です。
内容 : クラシカル・オステオパシー上級コースでの内容を抜粋して
1. 抵抗反応とコルチゾール
2. イスラエルでの研修関係の内容 オステオパシー・センター 他
3. 実技 検査診断 治療法
講師 : 春山 勝先生 (医学博士・内科医・MICO) 春山クリニック院長
MICO 英国クラシカル・オステオパシー学会会員
費用 : 7,000円
締め切り : 2012年3月2日 (金曜日)

【お申込み方法】

- | | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | Emailにて
(お申込み) | 以下のアドレス【 info@jokodo.com 】に件名に2012.3クラシカルと入れ、お名前・ご住所・連絡先を送信ください。受付いたします。 |
| 2 | 当日
(お申込み後) | 受講費は当日に受付時に申し込み用紙と共に支払ってください。おつりのない様をお願いいたします。 |

2012年3月 春山勝先生 クラシカル・オステオパシー勉強会に参加します。

お名前 : _____ ふりかな : _____

ご住所 : _____

携帯番号 : _____

PCアドレス : _____

所属 : _____

ご要望 _____

JOKODO 定期勉強会スペシャル

【3月4日 内容概要】

「抵抗反応とコルチゾール」「イスラエル マービン・ウオルドマン講習会」

抵抗反応について

交感神経は身体に倫理的ストレスが加わったり、驚愕や恐怖、強い疼痛を受けた時などに興奮し、主に内分泌系を通じて身体全体の広範な反応を起こし、その様なストレスから身体を守ろうとする。これがストレス反応と呼ばれる反応である。

そして交感神経のそういった状態が長期間にわたると、甲状腺、副腎皮質等が常に刺激を受け続けることになる。この結果甲状腺ホルモンやコルチゾールなどの作用によって、血糖値は上昇するが、初期は膵臓からのインスリン分泌が亢進することによって血糖値の上昇は抑えられている。

しかし、この状態が長期間持続すると、こういった内分泌臓器は次第に機能障害を生じ、最終的に疲弊状態に陥る。こういった反応を抵抗反応と呼んでいる。

今回はストレスに関連する影響を、神経、内分泌、免疫系との関連から解説します。

昨今は生物学的構造障害説による疼痛考察よりも、生物・心理・社会的疼痛症候群としての疼痛考察に海外はシフトしてきております。この交感神経系からの問題考察なども、その一つです。

イスラエルでのマービン・ウオルドマン D0 の講習会内容

今年1月にイスラエルの医科大学にて ICO 会長のマービン・ウオルドマン D0 の講習会に参加してまいりましたので、その内容を抜粋してお話しいたします。

ICO 英国クラシカル・オステオパシー学会

実技 評価方法

前回は紹介程度でしたが、今回は少し踏み込んでどの場所をターゲットにしているか等、実技を行いながらお話しいたします。

キャンセルに関して

資料作成もごさいますので、キャンセルはご遠慮願います。